

## 第1部会【市民協働部門】 会議概要録

### 【開催概要】

- 名称：平成28年度 第12回 東区自治協議会 第1部会
- 日時：平成29年3月10日（金）午前10時～11時10分
- 場所：東区役所 会議室A
- 出席者：五十嵐委員、長谷川委員、折笠委員、作左部委員、渡辺委員、三島委員、  
金胎委員、大橋委員、佐藤委員  
（事務局）地域課、総務課

### 【審議内容】

#### 1 地域防災推進事業について

##### （1）災害発生時における地域防災体制への支援について

事務局から、ワークショップおよび情報伝達訓練の開催概要について下記のとおり説明があり、意見交換を行いました。

情報伝達訓練で使用した無線機については、今後も継続して地域の防災訓練等で使用し、情報伝達のツールとして有効かどうか検証していくことにしました。

##### 【ワークショップ】

日時：平成29年2月17日（金） 午前9時30分～正午

会場：東区プラザ ホール

参加者：地域関係者、自治協議会委員、防災カフェ運営者 合計42名

内容：発災時の情報収集方法などをグループワーク形式で検討

##### 【情報伝達訓練】

日時：平成29年3月2日（木） 午後1時～4時40分

場所：各地域の指定避難所・一時避難場所・その他

参加者：地域関係者、自治協議会委員 合計42名

内容：発災時を想定した情報伝達訓練と訓練の振り返り（別紙参照）

##### （2）事業評価

事務局から事業の評価について説明があり、意見交換を行いました。

#### 2 地域防災体制支援事業について

来年度第1部会が企画担当する事業の実施方法などについては、今年度実施した情報伝達訓練の成果と課題を踏まえ、新しいメンバーで再度検討することにしました。

#### 3 その他

##### （1）世代間交流イベントについて

事務局から当日の役割分担などについて説明がありました。

##### （2）平成29年度東区自治協議会開催予定について

事務局から来年度の開催スケジュールについて説明がありました。

## 平成 28 年度発災時の地域防災体制支援事業 情報伝達訓練報告書

## 東山の下地区コミュニティ協議会

	出来たこと	出来なかったこと
訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報伝達が早くできた。</li> <li>・ 無線機の使用は有益（伝達迅速）</li> <li>・ 無線機の使い方を習得した。</li> <li>・ 不感場所の把握と通信場所の選定</li> <li>・ 避難所の無線と緊急 F A X の位置を確認できた。</li> </ul> <p>《分かったこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コミ協本部⇄避難所の連絡はOK</li> <li>・ 操作面OK、音量OK、音質割れて聞き取りにくい。</li> <li>・ 電波障害の場所が分かった。</li> <li>・ 場所によっては連絡できないことが分かった。</li> <li>・ 無線機を使用する場所は高い所でないとダメ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無線機の取扱い不足</li> <li>・ 無線機の取扱い不慣れ</li> <li>・ 無線での伝達情報の記録は難しい。</li> <li>・ 無線機で呼びかけるタイミングと聞くタイミングが難しい。</li> <li>・ 避難所内の場所によっては聞き取れない所があった。</li> <li>・ 避難場所間の情報共有が不足</li> <li>・ 避難所間で通信状況が悪く情報の共有ができなかった。</li> <li>・ 各避難所の報告内容が聞き取れなかった。</li> <li>・ 避難所間の連絡が取れなかった。</li> <li>・ 避難所間の訓練は実施しなかった。</li> <li>・ コミ協本部や避難所⇄各自治会・町内会の連絡方法</li> </ul>
現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難訓練</li> <li>・ 避難所運営訓練</li> <li>・ 避難所運営マニュアルの作成</li> <li>・ 自治会・町内会での自主防災組織の結成</li> <li>・ 避難所内の情報収集コミュニケーション</li> <li>・ マンホールトイレの設置</li> <li>・ 水の確保（発電機による汲み上げ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各自治会・町内会の被災状況の把握</li> <li>・ 自主防災未組織自治会等の情報遅延</li> <li>・ アパート住人への情報伝達がいまいち徹底していない。</li> <li>・ 町内で公助に頼らず生活する力をつける。</li> <li>・ 要支援者を支援する意識が未だ定着していない。</li> <li>・ 一時避難場所の情報がない。</li> <li>・ 防災備蓄品の実態不明（量や数など）</li> <li>・ 避難所のスタッフ確保が難しい。</li> <li>・ ボランティア不足</li> <li>・ 高齢の避難者の病気対策</li> <li>・ 学校の門が日常閉まっているので、いざと言う時に右往左往する。</li> </ul>

	地域	行政	協働
今後の対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営マニュアルに基づく訓練の実施とマニュアルの見直し</li> <li>・色々な状況を想定した訓練を実施する。</li> <li>・避難場所の環境整備</li> <li>・避難所毎に問題点を検証する。</li> <li>・避難所運営を担当する人と自治会で住人を担当する人の確定</li> <li>・避難所運営委員用のベストを作る。</li> <li>・各町内会の代表を決め、細かい情報を把握する。</li> <li>・被害状況把握のための様式を作り、各町内会に依頼する。</li> <li>・被害状況の報告内容の様式を統一する。</li> <li>・各自治会・町内会への協力依頼事項の整理</li> <li>・食糧を持ち寄る体制づくり</li> <li>・食材の確保（住民に拠出することの徹底）</li> <li>・自主防災の組織率アップ</li> <li>・自主防災会での機材の確保（発電機ほか炊き出し用具）</li> <li>・ボランティアの対応</li> <li>・井戸水の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災備蓄品情報開示</li> <li>・医師や看護師の派遣</li> <li>・ある程度の広さがある施設を把握</li> <li>・無線機5台では不足</li> <li>・簡易トイレ</li> <li>・プロパンガスの確保（炊き出し用）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難の重要性を広報する。</li> <li>・防災を担える人材育成</li> <li>・防災士の育成拡大（助成金の拡大）</li> <li>・他避難場所の情報共有</li> <li>・無線機の各コミ協への配置</li> <li>・公園に防災ベンチ設置（かまどにできるベンチ）</li> <li>・空き家の有効利用</li> <li>・グラウンドの有効利用</li> <li>・病院の確保</li> </ul>

南中野山小学校区コミュニティ協議会

	出来たこと	出来なかったこと
訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指示が明確であった。</li> <li>・被災地の状況を早く知ることができた。</li> <li>・現地との連絡に有効で状況が直ぐに分かった。</li> <li>・無線で状況報告ができた。</li> <li>・必要物資についてある程度細かく報告されていた。</li> <li>・無線の音がよく聞こえた。</li> <li>・無線機の聞き取りは全般的に良かった。</li> <li>・情報班のまとめが良かった。</li> <li>・班別に被災状況をまとめることができた。</li> <li>・各ブロックが情報を上手くまとめている。</li> <li>・被災地の状況を地図におとした。</li> </ul> <p>《分かったこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無線機の聞き取りが難しい場所がある。</li> <li>・情報に優先順位をつけて報告する。</li> <li>・道路の破損状況報告時に番地を言われても、分かりづらかった。</li> <li>・周囲が聞けるような装置が必要</li> <li>・聞き取った内容を書き取るための用紙が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線機を使い慣れていない。</li> <li>・聞き取りにくい（電波、話し方）</li> <li>・聞き取りが上手くいかなかった。</li> <li>・伝達事項が上手く伝わらない。</li> <li>・本部の無線機の感度をもっと良く。</li> <li>・どうしても早口になってしまう。</li> <li>・早口で聞き取りが難しかった。</li> <li>・早口で書き取れなかった。</li> <li>・聞き取ってメモするのが難しい。</li> <li>・被災地の場所と道路状況は聞き取りづらい。</li> <li>・内容の復唱がなかった。</li> </ul>
現況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災体制の組織はできている。</li> <li>・連絡網ができている。</li> <li>・防災訓練を毎年行っている。</li> <li>・各々の自治会に自主防災組織がある。</li> <li>・避難所に井戸水がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部の各班の連携</li> <li>・自治会のマニュアルが不十分</li> <li>・自治会のマニュアルがない。</li> <li>・一時避難場所のマニュアルがない。</li> <li>・一時避難場所に全員は収容できない。</li> <li>・一時避難場所の周知徹底</li> <li>・要支援者の把握と対応</li> <li>・最低限の備蓄品の確保</li> <li>・スタッフが不足</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易トイレが不足</li> <li>・防災資機材が不足</li> </ul>	
	<b>地域</b>	<b>行政</b>	<b>両者</b>
<b>今後の対策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の防災意識の向上</li> <li>・避難所運営マニュアルの作成</li> <li>・一時避難場所での運営について他の自治会と打ち合わせする。</li> <li>・本部への報告をマニュアル化（簡素化）</li> <li>・避難所開設リーダーの養成</li> <li>・自治会で被災状況を調査し報告するリーダーが必要</li> <li>・自主防災会の見直し</li> <li>・各自治会が所有している防災機器の把握</li> <li>・必要な防災用品を調査して備える。</li> <li>・防災用具を使えるよう訓練する。</li> <li>・必要な物は自治会で調達する。</li> <li>・簡易寝袋を用意する。</li> <li>・水害対策のマップづくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無線機の確保</li> <li>・無線機を各自治会に2台配置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一時避難場所の環境整備（テント、毛布、ブルーシート、食糧）</li> <li>・包括支援センターとの情報共有</li> <li>・自治会で住民票の管理</li> </ul>